

新型コロナウイルスワクチンについて

新型コロナウイルス感染予防はマスク着用・消毒・手洗い・換気・3密回避など新しい生活様式に乗っ取って実施していると思いますが、加えてワクチン接種も進んできています。

ワクチンの効果

日本で接種が行われている新型コロナワクチンは、いずれも、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり(有効性95%)、また、発症しても重症化を予防する効果が期待されています。効果の持続期間や、感染を予防する効果についても、時間の経過や接種者数の増加に伴い、研究が進んでいます。接種して免疫がつくまでに数週間かかります。接種後も引き続き感染予防を行いましょう。

ワクチンの副反応

注射した部分の痛み、疲労、発熱、頭痛、筋肉や関節の痛み等がみられることがあります。ワクチンの種類によっては強いかゆみもみられます。まれな頻度でアナフィラキシー(急性のアレルギー反応)が発生します。副反応の出方は個人で違いますが若い人の方が多く現れます。1回目のワクチン接種でいくらか免疫がつくことで、2回目の接種の方が、免疫反応が起こりやすくなるため、副反応が出やすくなります。1~3日くらいで治まりますが、さらに長引くようであれば病院受診しましょう。副反応で体調不良の時は登校を控えて自宅で休みましょう。朝からだるく感じたが、登校し、その後、悪化して早退した人が何人かみられません。

ワクチン未接種者に対する偏見・差別

国はワクチンの接種を受けることを強制していません。接種を受けるかどうかの冷静な判断をを行うよう、正確な情報提供を行った上で、接種を受ける方の同意がある場合に限り行われます。必ずしも接種しなければいけないわけではありません。強いアレルギーを持っていてできない人もいます。接種の効果や副反応等について家庭で話し合ってください。正確な情報は厚労省や文科省のホームページで確認しましょう。接種しない人を差別することはゆるされません。

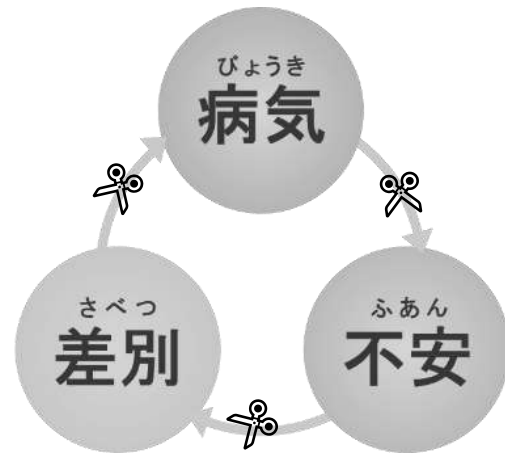
感染予防
①



コロナは 3つの “感染症” 日本赤十字社「新型コロナウイルス感染症の3つの顔を
 知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」より

1 “**病気**”そのものの感染症
 ウイルスの感染をひろげないために…手洗い・
 マスク・換気・3密を避け自分自身の感染症予
 防を徹底しておこなう。

2 “**差別・偏見**”という意識の感染症
 差別や偏見をひろげないために…
 言い出しにくい空気をつくらないこと

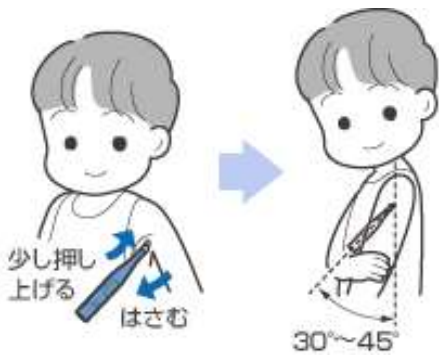


この3つの感染症が負のスパイラルとしてつながること
 で、さらなる感染拡大や、社会問題の深刻化へとつながっ
 ていきます。

3 “**不安**”という気持ちの感染症
 不安にふりまわされないために…
 情報源のはっきりしないうわさ話はしない
 広げないこと

毎朝の健康観察をお願いします。

体温の正しい測り方



わきと体温計が密着するように腕で軽くおさえてください。はさみ方を間違
 えると正しく測れないことがあります。



保健室からのお知らせ

内科健康相談:9月30日
 カウンセラー来校日
 10月5日・10月26日



感染予防②

